



子育てしやすいまちを考えよう

やまと市民討議会

開催結果概要

「やまと市民討議会～子育てしやすいまちを考えよう」を開催しました！

大和市がより子育てしやすいまちになることを目指して、市民の方々からご意見をいただき、市の取り組みの参考とするため、令和元年8月3日（土）に「やまと市民討議会」を開催しました。

開催にあたっては、普段、市に意見を述べる機会の少ない市民の方々に参加していただくため、無作為抽出した市民3,500名に案内を送付しました。

当日は、26名の市民の方と市内高等学校5校から生徒9名が参加しました。



市民討議会の様子

午前のグループワークのまとめ

私のまちの子育て環境の良いところ、自慢したいところを出し合おう

- ・待機児童ゼロなど、子育て施策が充実してきた
- ・保育園、幼稚園、放課後児童クラブ、寺子屋など子どもの預け先が充実している
- ・中学校でも給食がある
- ・自然、緑が豊かで公園が多く、施設や医療体制が充実している
- ・交通機関、コミュニティバスが便利
- ・あいさつや見守りなど近所付き合いがある
- ・住みやすい

など

私のまちの子育て環境の気になるところ、なおしたいところを出し合おう

- ・親の心のケア、大人の居場所が不十分
- ・すべての子育て世帯に助成がない
- ・子育て施策に地域差がある
- ・17時以降の小学生の居場所や雨天時に遊べる場所がない
- ・兄弟で同じ保育園に入れない
- ・道が狭い、公園が暗いなど安全性が心配
- ・施設のバリアフリーや利用マナーが悪い
- ・問い合わせ時に関連しそうな情報も併せて教えて欲しい
- ・地域との関わりが少ない

など

将来、より子育てしやすくするにはどうすれば良いか出し合おう

- ・結婚や子育てへの良いイメージ、体験談を社会全体で共有しよう
- ・家庭環境に合わせた支援を強化し、子育て施策をPRしよう
- ・男性も子育てに参加しやすくなると良い
- ・兄弟で同じ保育園に通える、放課後児童クラブが増えるなど、子どもを預ける環境がさらに整うと良い
- ・両親の勤務時間を短くして子育てに関わる時間を増やそう
- ・シニアの力で子育てを手伝う人を増やそう
- ・歩道の段差をなくし、幅を広げられると良い
- ・分煙を徹底しよう

など

午後のグループワークのまとめ

4つのテーマに分かれて、各グループで話し合っていました。その後、最も共感できるアイデアについて参加者全員で投票を行いました。

表の見方

グループ番号

課題

解決アイデア

※太枠はグループごとに最も投票数が多かったアイデアです。

テーマ① 子どもが生き生きと遊べるまち

1 グループ	公園で遊ぶ子どもが少ない	遊びに行きたくなくなる遊具を公園に設置し、天候も気にせず安心して遊べる場所をつくろう
	雨の日に遊ぶ場所が少ない	
	子どもに社会やリアルな職業を伝えたい	ポラリスやシリウスを会場に、社会人の失敗談・経験談の“生の声”が聞けるゲストティーチャーイベントをやろう
	大和市ならではのテーマパークがほしい	既存の施設も活用しつつ、シリウス超えのテーマパークをつくり、市民がワクワクして使える場所をつくろう
部活の種類が少ない	民間と連携して部活の種類を増やし、子ども達のやりたいことを実現できる生き生きした学校をつくろう	

テーマ② 地域ぐるみで子どもを育てるまち

2 グループ	空き時間や得意なことを地域の資源として生かせると良い	市が大和市専用のテレビチャンネルや人材バンクなどの仕組みをつくり、地域ごとに情報を発信・共有しよう
	地域に顔見知りがない	安全・安心で信頼できるコミュニティをつくるため、町内会・自治会等による防災訓練の情報発信や開催方法を工夫する
	大人から地域の子どもの気軽に声かけできない	
子育て世帯の孤立が心配	4～5世帯ごとに多世代の班をつくり、班対抗イベントなどで交流を深め、情報共有し信頼を築こう	
3 グループ	子どもの見守り、登下校の挨拶が必要	自治会館を拠点にして、自治会で地域交流活動しよう
	単身者や外国人をはじめ、地域での交流のきっかけが少ない	
	地域イベントはリスクや人手不足の問題から実施が難しい	子どもと地域の関わりを増やすため、各地でラジオ体操を行うことを、市に応援・宣言してもらう
お母さんにあたかな声かけが必要	疲れているお母さんにやさしい言葉をかけ、手伝おう	

テーマ③ 仕事と子育てが両立できるまち

4グループ	家事、仕事、子育てのバランスをとることが大事	家庭内での話し合いや役割分担を大前提として、家事などの作業を棚卸し振分けよう。子どもの気持ち、愛情もしっかり考えよう
	ベビーシッターなどにアウトソーシングできることが大切	市のファミリーサポートセンターをもっと活用するために、宣伝・情報発信を強化し、担い手となるシニアや学生メンバーを増やそう
	ファミリーサポートセンターの担い手が足りない	
遅い時間や長期休暇中の子どもの預け先に困っている	保育園が中心となり、①子育ての終わった家庭、②児童館、③放課後児童クラブを活用して、曜日や時間を気にせず子どもを預けられる場づくりを考えよう	
5グループ	子どもと一緒に安心して外食したい	市のバックアップで自治会を活性化し、学生から高齢者までそれぞれができること（学習支援、食事提供、子ども預かりなど）をしよう
	自治会を有効活用したい	
	保育園で夕食を提供してほしい	
	子どもの教育資金が負担	子ども同士が互いに教え合う学習塾を開き、異年齢間の交流を深め、コミュニケーション能力も向上させよう
	母親へのケアが必要	母親のストレスを解消するため、①里帰り代わりに利用できる施設の整備、②カフェのドリンクチケットを配布、③レストランでママたちが集まっておしゃべりできる子育てフェアを開催しよう
子どもが安心して過ごせると、親も安心して働ける	子ども見守りキャンペーン（週間、月間）を設け、みんなで市内を見回って見守りの意識づけをしよう	

テーマ④ 子育ての不安を和らげる支援策とは

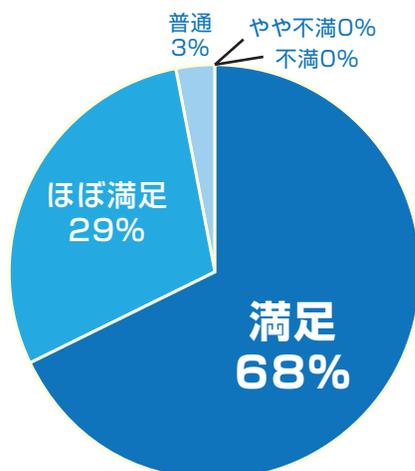
6グループ	気軽に相談できる人がいない	様々な手段で専門的な相談や気軽な相談ができ、Web サイトでも情報を閲覧できるとよい
	相談先が専門ごとに細かく分かれていると良い	
	親に相談してくれない子どもが心配	子どもが不安や悩みを保健室の先生やスクールカウンセラーに相談できる環境を整えよう
	子どもが安心・安全に遊べる環境が整っていると良い	シニアが公園や遊び場の維持管理にも関わり、子どもを見守ろう
	教育費をはじめ、子育てにかかる経済的な不安がある	第2子からの経済支援、ニーズに合わせて使える子育て応援券、教育費への支援策を整えよう
	先生が一人ひとりの子どものことをよく理解できると良い	電子カルテで情報共有する仕組みをつくり、学校同士が連携して子どもの成長を見守ろう
	歩道が狭く、段差があり安心して歩けない	バリアフリーが実現できる環境を整え、守れるルールづくりをしよう
	本当に困っている人が多機能トイレやエレベーターなどを使えていない	
	子どもの遊びが偏っている	大人の得意や好きを伝え、色々な遊びに触れる機会をつくろう

④ 当日のプログラム

時間	実施内容	時間	実施内容
9:30	受付開始	13:25	午前中の成果の共有と後半グループワークの進め方・テーマの確認
10:00	開会のあいさつ・市民討議会の目的について	13:35	午前中に出された意見を受けて、6グループ（5～6人）に分かれ、各グループが1つのテーマについて、意見交換を行います。 [テーマ] テーマ①：子どもが生き生きと遊べるまち テーマ②：地域ぐるみで子どもを育てるまち テーマ③：仕事と子育てが両立できるまち テーマ④：子育ての不安を和らげる支援策とは
10:15	大和市の子育てに関する取り組み状況（情報提供）		
10:35	本日の進め方の説明	15:30	グループ成果の発表
10:55	7グループ（5～6人）に分かれて3つのテーマについて席替をしながら意見交換を行います。 テーマ①：私のまちの子育て環境の良いところ、自慢したいところを出し合おう テーマ②：私のまちの子育て環境の気になるところ、なおしたいところを出し合おう テーマ③：将来、より子育てしやすくするにはどうすれば良いか出し合おう	15:55	各グループで良いと思った発表についてシール投票・まとめ
12:05	グループ成果の発表	16:15	閉会のあいさつ・アンケート記入
12:25	昼食・休憩		

④ 参加者の感想

<市民討議会への満足度>



<主な感想>

- ・1つのテーマに対して様々な意見や考え方があることがわかり、意見交換する楽しみを感じました。
- ・様々な世代の方と、初対面とは思えないほどたくさんの意見を交わし、大和市をよりよくするために考えられた。
- ・普段あまり考えることのないことを深く考えられました。
- ・どのグループでも若者の新鮮な意見に感心しました。
- ・色々な発言が出やすい雰囲気でした。

④ 今後の取り組みについて

今回の市民討議会で頂いた内容は、市民参画で得た貴重な意見として取りまとめ、市の施策展開・検討等の参考としていきます。

<http://www.city.yamato.lg.jp/web/seisaku/seisaku01211799.html>

④ お問い合わせ

大和市 政策部 総合政策課 電話：046-260-5304

